

とちぎ農産物マーケティング協会 月刊情報 (22年5・6月号) vol.33

◆ とちぎフレッシュメイト認定

6月4日(金)、JA会館で「とちぎフレッシュメイト」の認定式を行った。

今回、平成22年度とちぎフレッシュメイトに選ばれたのは、大田原市の井上友香(いのうえ ゆか)さん(23)と下野市の関千佳(せき ちか)さん(21)。

認定式では、伊澤会長から認定証が授与された。

2人は、「これから、キャンペーンやイベントを通じて、県産農産物のイメージアップとブランド確立に努めます」と宣誓した。6月9日には福田知事をはじめ、関係機関、団体、マスコミを表敬訪問した。



〔 会長室にて記念写真 〕



〔 第9代目フレッシュメイト
井上さん(左)と関さん(右) 〕

◆ とちぎ農産物クチコミ隊「いちご収穫体験」



〔 いちご狩りの様子 〕

5月22日(土)、いわふねフルーツパーク(岩舟町)にてJAしもつけの協力を得て、「いちご収穫体験」を開催し、クチコミ隊31組131人が参加した。

暑いハウスの中で汗だくになりながら、いちごを収穫したり、ハウス内のマルチをはがすなどの作業を行った。参加者たちは、甘くて大きないちごにみんな大満足!

その後、トマトとナスの苗植え体験も行い、子供たちみんなで、肥料と土を混ぜ合わせて土作りをした。みんな生産者のように真剣な顔つきをしていた。

実際に収穫体験や農産物を育てることで、生産者の気持ちや農業への理解促進を図った。

◆ JTB旅ホ連栃木支部誘致宣伝委員シンフォニーイベントへの出展について

5月25日(火)、東京湾クルーズ「シンフォニー」において、JTB旅行の業務窓口担当者や営業をする社員を対象に、夏休み首都圏の集客率アップに繋げるイベントが開催された(今年で5回目)。県産農産物のPRとして、当協会が出展し、県産農産物の認知度向上及びイメージアップを図った。

提供したメニューは、なすひかりと干瓢を使用した五目寿司やアスパラと白美人ねぎのグラタンなど、旬の県産農産物を使用した特徴や素材を生かしたメニュー(20種類)で、参加者に対し、栃木県の魅力を観光だけではなく、食の魅力でもアピールした。その他、栃木県農産物の展示PRコーナーを設置し、今回メニューに使用した農産物を展示紹介した。

参加者や宿泊施設の方からは、特に白美人ねぎに興味をもった方が多く、特徴、販売先などについての質問もあった。実際に使用した田中シェフは、「栃木県の農産物は新鮮味で、非常に使いやすい。白美人ねぎの甘みと柔らかさには驚き、他の産地にはない品目だ。今後のメニューに参考にした」と話した。



◆ とちぎ和牛「匠」ブランドの認定

5月28日(金)、JA会館で畜産部会を開催した。そこで「とちぎ和牛」の枝肉格付A5等級かつBMS10以上のものを「匠」ブランドと認定し、他ブランド牛と差別化した販売に取り組むことにした。

◆ いちご部会全体会議の開催(6月2日)

◆ 花き部会全体会議の開催(6月4日)

◆ 果樹部会全体会議の開催

6月8日(火)、JA会館で果樹部会全体会議を開催した。景気低迷、天候不順による作柄の遅れ等不安材料が多い中、若手のための現地検討会を計画し、後継者育成に力を入れることや、「にっこり」梨のPRに努めることとした。

◆ 本年産巨峰シンガポールに輸出開始

JAしもつけ岩舟地区の巨峰については、6月18日(金)から28日(月)にシンガポールISETANスコッツ店において、巨峰フェアが開催されるに伴い、昨年度より16日早い、6月9日(水)にシンガポール向けの輸出が始まった。

また、本年度は、輸出拡大に向け、新たな輸出先として、ロシアに試験輸出を行うとともに、長期輸送に伴う鮮度保持を目的に、鮮度保持フィルム使用による試験輸送を実施する。



鮮度保持フィルムを使用した試験輸送

◆ 「特選銘柄牛と郷土の味覚フェア～栃木～」の開催(結果報告)

3月1日(月)～4月30日(金)の2ヶ月間、横浜ロイヤルパークホテル鉄板焼「よこはま」にて、「特選銘柄牛と郷土の味覚フェア～栃木～」を開催した。

今年は、景気低迷の中、ホテル・レストラン全体の客足が伸び悩むという状況であったが、フェアメニューの注文率に関しては、3月はディナー・ランチとも前年実績を超え、各地の和牛フェアの開催を始めてから、過去最高の実績となり、4月も前年の実績を超えた。

また、“とちおとめ”デザートメニューや、県産農産物を使用したメニューの提供も併せておこなった。

ホテル側の声として、「お客様の評判も良く、栃木の割合は増えた。品質の良さは評価している。」と話している。

今後の予定

6月13日(日) とちぎ農産物クチコミ隊「田植えと野菜の苗植え体験」(栃木市内)

栃木市内にて、田植えと畑でサツマイモと落花生の苗を植える。農業への理解促進と県産農産物の消費拡大及びイメージアップを図る。

6月14日(月) 幹事会(JA会館 5-3会議室)

6月17日(木) 理事会(JA会館 5-3会議室)

6月24日(木) 総会(二荒山会館)

6月25日(金) 特産部会全体会議(JA会館)

(社)とちぎ農産物マーケティング協会(平成22年5・6月発送)

TEL 028-626-2150 FAX 028-643-7853

<http://www.tochigipower.com/>